



2014
CHIBA

第42回

千葉県透析研究会

プログラム・抄録集

会期 ● 平成26年 12月 14日(日)

会場 ● かずさアカデミアパーク

当番世話人 ● 武田 将伸 山之内病院
岩堀 徹 幸有会記念病院

巻 頭 言

— 透析患者の高齢化 —

室谷 典義 JCHO 千葉病院

わが国の人口は2010年以来減少し続けているが、高齢者(以下65歳以上とする)人口の割合は増え続けている。とのことはほとんどの人が理解してはいるが、正確に数字で説明できる人は少ない。透析患者の高齢化に関しても同様であろう。今回、小生が調べてみたので報告する。お話をする時の参考にして戴ければ幸甚である。

2010年10月の統計では、わが国の人口は1億2,806万人と報告されている。2011年10月には1億2,780万人と26万人減少、2012年10月は1億2,751万人と29万人の減少、2013年10月は1億2,730万人と21万人減少。すなわち3年間で76万人の減少である。2014年10月の統計はまだ出ていないが、4年間では約100万人の人口(千葉市全体の人口に匹敵する)が減少することになるであろう。

さて高齢者の割合は、2010年が23.3%、2011年24.1%、2012年25.1%と増加し続けている。国単位で考えると、人口の7%以上が高齢者の場合高齢化社会と定義される。14%以上では高齢社会、21%以上は超高齢社会と謂うそうである。世界の4,000万人以上の人口を抱える国の中での高齢者の割合は、日本が25.1%、次いでドイツ20.6%、イタリアが3番目で20.3%である。すなわち世界の国の中で超高齢社会に突入しているのはわが国だけであり、世界中がわが国の今後の「医療や福祉の在り方」に注目している。(破綻することを含めて)

透析患者は2013年12月31日現在、31万4,180人と報告されている。透析患者における高齢者の割合は実に61.7%である。透析患者の高齢化と認知症合併は比例関係にあり、透析の導入や差し控え等に関して我われ透析医療関係者は十分に考え議論する必要があるであろう。

本年5月の透析医学会誌に日本透析医学会のガイドライン作成ワーキンググループの透析非導入と継続中止を検討するサブグループから「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」が発表された。この中で、認知症透析患者のことには言及していない。いろいろの問題があり過ぎて触れられなかったとのことである。是非とも一読戴き、今後のわが国の透析医療の在り方について考えを巡らせて戴ければと思います。

交通のご案内



東京	●車(アクアライン経由)…50分	→	JR木更津駅	●車…15分	→	かずさアカデミアホール
	●高速バス…65分	→		●路線バス…20分	→	
	●JR内房線…特急52分・快速65分	→				
川崎	●高速バス…65分	→				
横浜	●高速バス…55分	→				
羽田	●高速バス…35分	→				
	●車(アクアライン経由)…30分	→				
成田	●車(東関東自動車道由)…60分	→				
海ほたる	●車(アクアライン経由)…20分	→				

お車でのアクセス

- 千葉方面から
館山自動車道 **木更津北IC** で降り、料金所を出て右折、直進約10分
- 東京・神奈川方面から
東京湾アクアライン、木更津金田料所を通過し、アクアライン連絡道、木更津ジャンクション経由で **木更津北IC** で降り、約10分

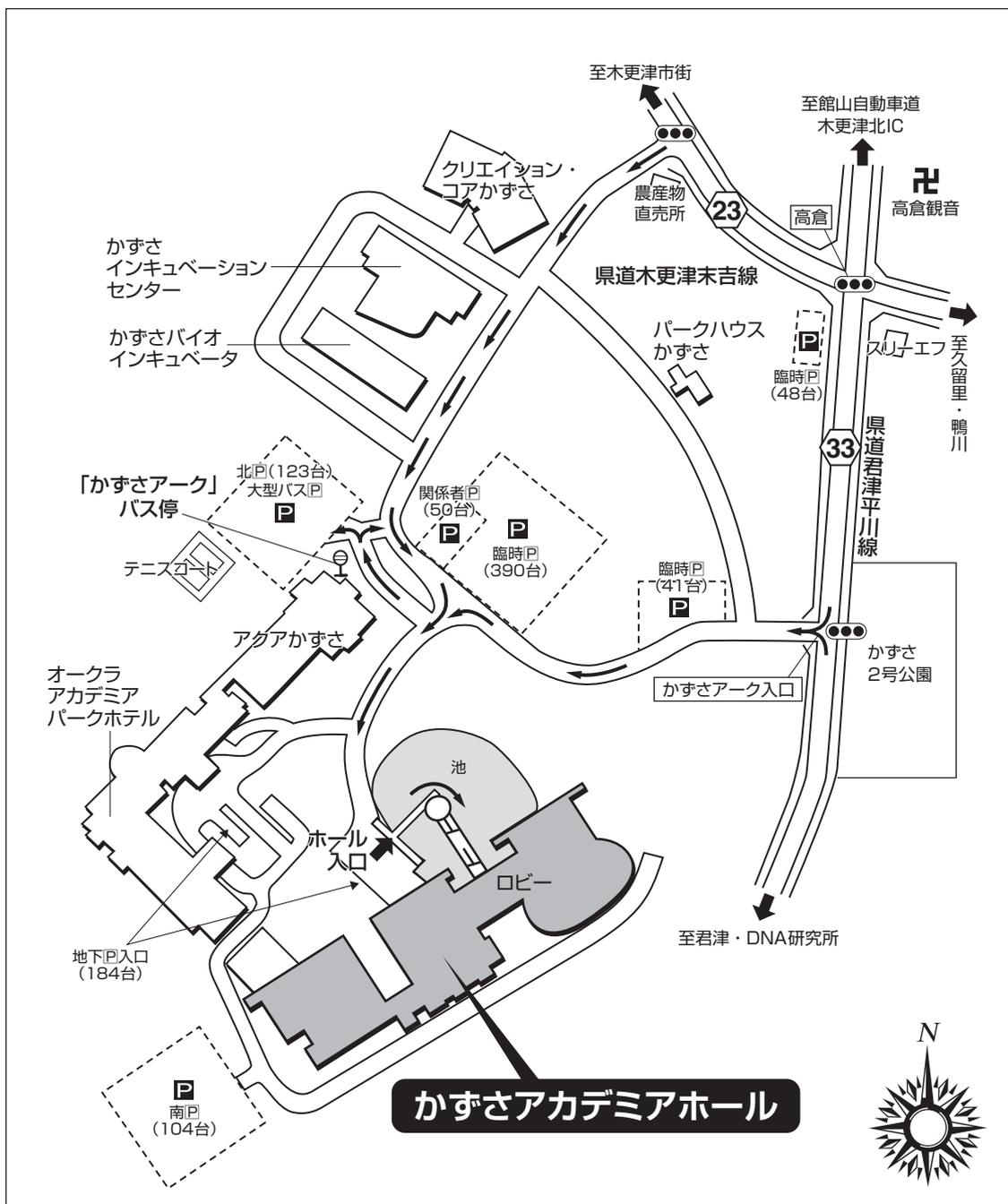
かずさパーク
 株式会社 かずさアカデミアパーク
 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9
 営業部：TEL.0438-20-5555 FAX.0438-20-5139
<http://www.kap.co.jp/> e-mail:hall@kap.co.jp

【日東交通】 高倉線 木更津駅東口～かずさアーク

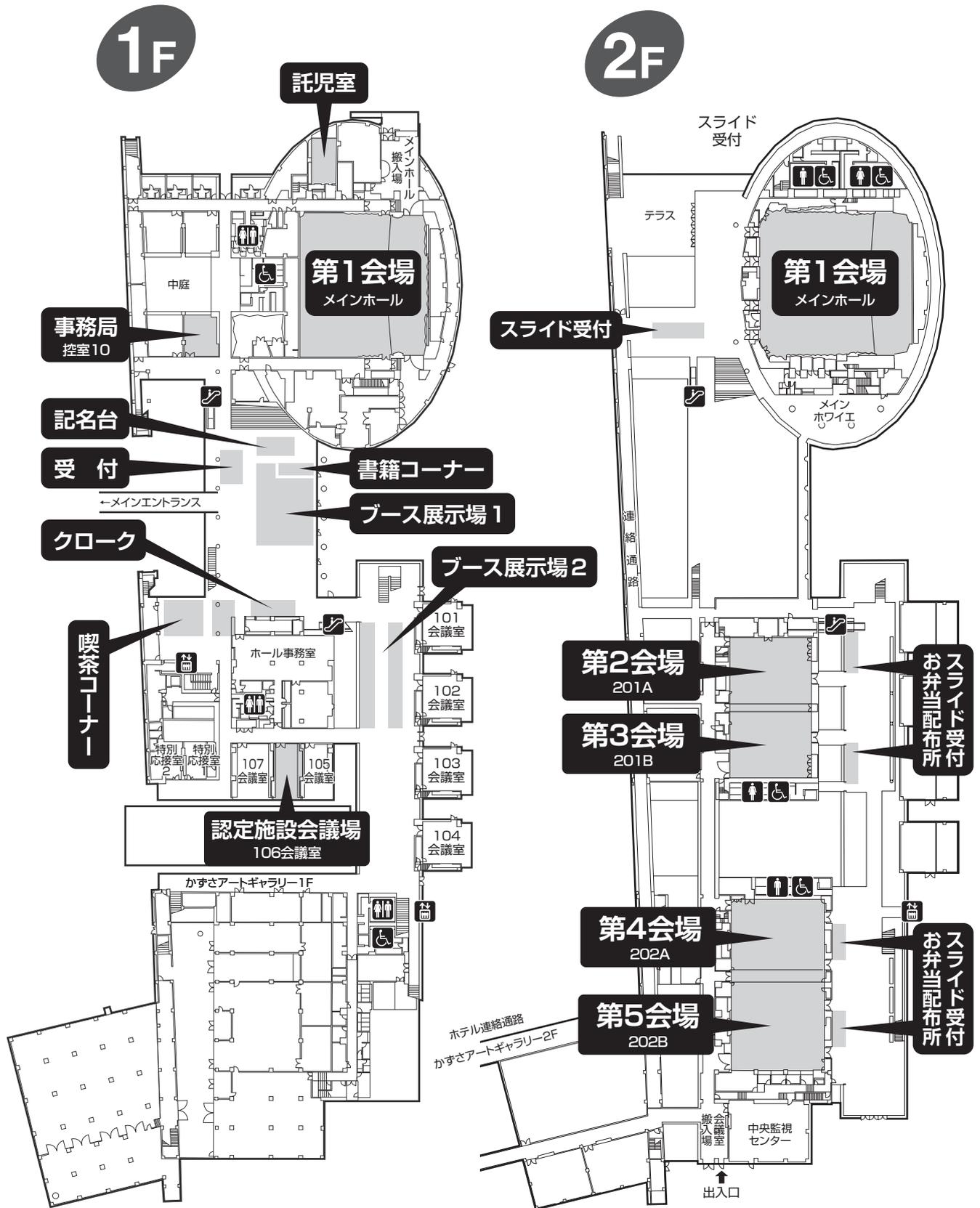
下り	木更津駅東口	9:15	10:00	12:30	13:30	15:50	16:45	17:55	18:25	—
	かずさアーク	9:37	10:22	12:52	13:52	16:12	17:07	18:17	18:47	—
上り	かずさアーク	7:53	9:03	9:53	10:48	13:03	14:13	16:38	17:18	18:33
	木更津駅東口	8:15	9:25	10:15	11:10	13:25	14:35	17:00	17:40	18:55

【鴨川日東】 急行木更津鴨川線 木更津駅～かずさアーク

下り	木更津駅東口	8:00	10:40	14:00	17:30	19:00
	かずさアーク	8:14	10:56	14:16	17:46	19:16
上り	かずさアーク	7:14	9:34	12:29	15:09	17:29
	木更津駅東口	7:30	9:50	12:45	15:25	17:45



会場案内図

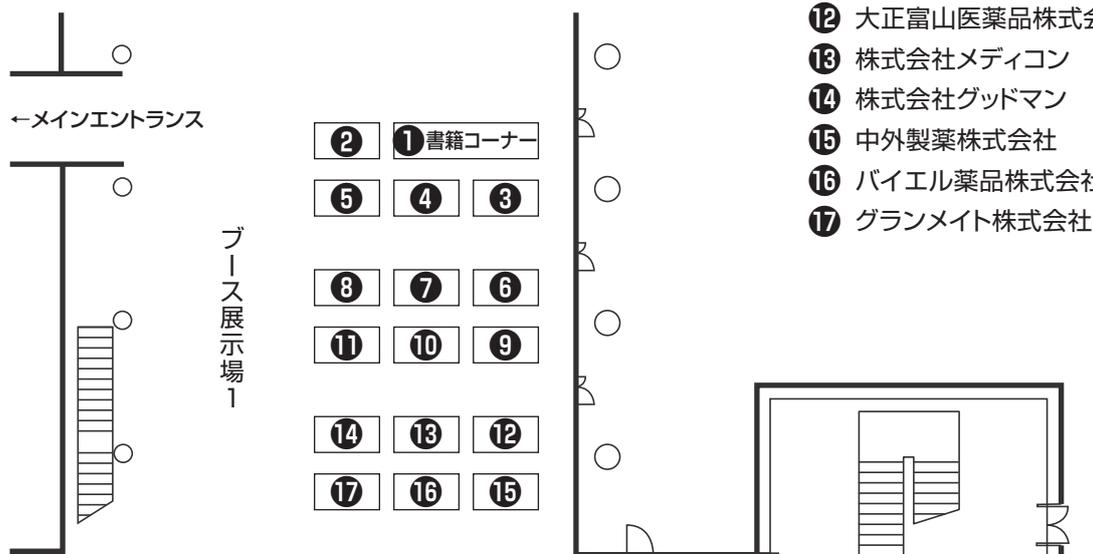


企業展示ブース

1F ブース展示場1

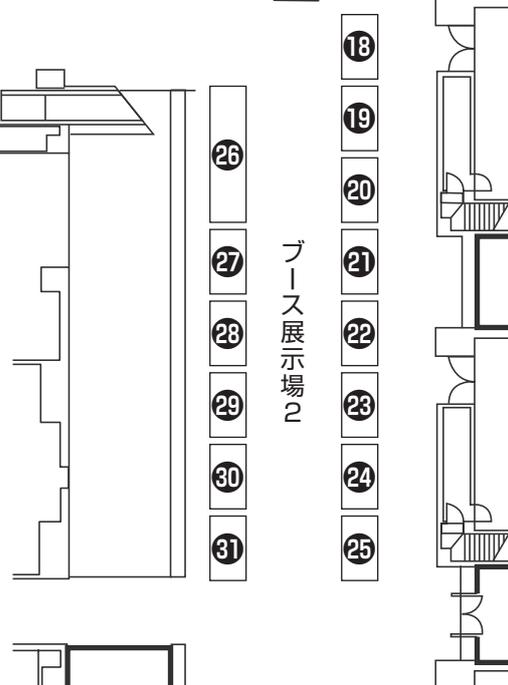
- ① 志学書店
- ② 協和発酵キリン株式会社
- ③ 株式会社トライテック
- ④ 株式会社カネカメディックス
- ⑤ コニカミノルタヘルスケア株式会社

- ⑥ 岩瀬薬品株式会社
- ⑦ 株式会社クリニコ
- ⑧ 株式会社アプロンワールド
- ⑨ 株式会社バイオスペース
- ⑩ キッセイ薬品工業株式会社
- ⑪ ボストン・サイエンティフィック
ジャパン株式会社
- ⑫ 大正富山医薬品株式会社
- ⑬ 株式会社メディコン
- ⑭ 株式会社グッドマン
- ⑮ 中外製薬株式会社
- ⑯ バイエル薬品株式会社
- ⑰ グランメイト株式会社



1F ブース展示場2

- ⑱ 川澄化学工業株式会社
- ⑲ テルモ株式会社
- ⑳ 旭化成メディカル株式会社
- ㉑ 株式会社JMS
- ㉒ 日本コヴィディエン株式会社
- ㉓ 東レ・メディカル株式会社
- ㉔ メディキット株式会社
- ㉕ 日機装株式会社
- ㉖ 株式会社メルシー
- ㉗ 扶桑薬品工業株式会社
- ㉘ 株式会社JCT
- ㉙ 株式会社陽進堂
- ㉚ ニプロ株式会社
- ㉛ 株式会社JIMRO



2014年 12月 14日 (日) かずさアカデミアパーク

	第1会場 2F メインホール	第2会場 2F 201A会議室	第3会場 2F 201B会議室	第4会場 2F 202A会議室	第5会場 2F 202B会議室	1F ロビー ホワイエ
8:30	8:30～開会式					
9:00	8:40～9:30 セッション1(看・理) 運動療法・かゆみ 座長：三愛市原クリニック 前田 ゆかり先生	8:40～9:30 セッション8(臨) 機械① 座長：みはま病院 大釜 健広先生	8:40～9:20 セッション11(臨) HDF・在宅 座長：医療法人社団 松園会 松金 隆夫先生	8:40～9:20 セッション17(医) 治療管理① 座長：玄々堂君津病院 大崎 慎一先生	8:40～9:20 セッション22(臨・看) バスキュラーアクセス① 座長：さとうクリニック 津田 祐樹先生	9:30 ～ 16:50 ブ ー ス 展 示
10:00	9:30～10:10 セッション2(看) 精神 座長：幸有会記念病院 江崎 真我先生	9:30～10:30 セッション9(臨) 特殊治療・機械② 座長：東葉クリニック佐原 西森 太郎先生	9:20～10:00 セッション12(臨・看) 安全① 座長：浦安駅前クリニック 大宮 正和先生	9:20～10:00 セッション18(医) 治療管理② 座長：聖隷佐倉市民病院 藤井 隆之先生	9:20～10:10 セッション23(臨・看) バスキュラー アクセス② 座長：稲毛病院 水野 宏先生	
11:00	10:10～10:50 セッション3(看・医) 長時間透析 座長：稲毛駅前クリニック 青木 栄子先生	10:30～11:00 セッション10(臨) 臨床検討 座長：東京ベイ・浦安市川 医療センター 鈴木 康浩先生	10:00～10:50 セッション13(看) 安全② 座長：みはま佐倉クリニック 村崎 めぐみ先生	10:00～10:50 セッション19(医) 症例検討 座長：千葉東病院 今澤 俊之先生	10:10～11:00 セッション24(臨) バスキュラー アクセス③ 座長：さとうクリニック 佐藤 純彦先生	
	10:50～11:30 セッション4(看・検) その他① 座長：東葉クリニック八日市場 平山 博子先生				11:00～11:40 セッション25(臨・看) バスキュラーアクセス④ 座長：さとうクリニック 川鍋 雄司先生	
12:00		11:45～12:00	弁当引換え			
		12:00～13:00 ランチョンセミナー1 高リン血症における今後の展望 講演：東京女子医科大学腎臓病総合医療 センター・血液浄化療法科教授 秋葉 隆 先生 座長：亀田総合病院 望月 隆弘 先生		12:00～13:00 ランチョンセミナー2 透析患者の栄養管理～ 新しい基準を踏まえて～ 講演：東京医科大学内科 部門腎臓内科学分 野・主任教授 菅野 義彦 先生	12:00～13:00 ランチョンセミナー3 ADPKD：最も多い遺伝 性腎疾患～サムスカは未 期腎不全を減らすか！～ 講演：帝京大学医学部附属 病院・泌尿器科准教授 武藤 智 先生	
13:00	13:10～13:30 総会	13:00～13:10	休憩	座長：山之内病院 武田 将伸 先生	座長：東京女子医科大学附属 八千代医療センター 鬼塚 史朗 先生	
14:00	13:30～14:30 特別講演 免疫制御の新戦略 講演：順天堂大学医学部免疫 学特任教授・アトピー 疾患研究センター長 奥村 康 先生 座長：幸有会記念病院 岩堀 徹 先生	13:30～14:30 特別講演 モニター上映		13:30～14:30 特別講演 モニター上映	13:30～14:30 特別講演 モニター上映	
15:00	14:40～15:20 セッション5(看) その他② 座長：国保旭中央病院 小林 裕子 先生	14:30～14:40	休憩			
	15:20～16:00 セッション6(臨) 薬剤 座長：JCHO 千葉病院 岡澤 勝巳 先生	14:40～15:20 セッション14(臨) 安全・検査 座長：玄々堂君津病院 三浦 英貴 先生		14:40～15:40 セッション20(医) 臨床研究 座長：東京ベイ・浦安市川 医療センター 鈴木 利彦 先生	14:40～15:20 セッション26(臨) 管 理 座長：千葉東病院 伊藤 久美 先生	
16:00	16:00～16:40 セッション7(看) フットケア 座長：JCHO 千葉病院 滝 幸恵 先生	15:20～16:00 セッション15(臨) 膜性能評価① 座長：亀田総合病院 土屋 智一 先生		15:40～16:20 セッション21(臨) モニタリング 座長：三愛記念病院 松岡 真佐代 先生	15:20～16:00 セッション27(看) 栄 養① 座長：玄々堂君津病院 木村 純子 先生	
	16:40～16:50 閉会式	16:00～16:40 セッション16(臨) 膜性能評価② 座長：君津中央病院 森口 英明 先生			16:00～16:30 セッション28(看・栄) 栄 養② 座長：みはま病院 尾坂 雅美 先生	
17:00						

プログラム

第1会場(2F メインホール)

セッション1(看・理) 8:40~9:30

[運動療法・かゆみ]

座長：前田 ゆかり 先生(三愛市原クリニック)

01-1 運動療法の取り組みによりむずむず脚症状改善がみられた1事例

○山口 葉子(ヤマグチ ヨウコ)(看護師)¹⁾、佐藤 智秋¹⁾、蛭田 みゆき¹⁾、黒沼 まゆみ¹⁾、高榎 三千代¹⁾、宇佐美 勝美¹⁾、後藤 真希¹⁾、中村 喜信¹⁾、堀井 宏志¹⁾、坂本 薫¹⁾、林 良輔²⁾、田畑 陽一郎²⁾、齊藤 正和³⁾

1) 医療法人社団 三橋病院、2) 医療法人社団 明生会 東葉クリニックグループ、
3) 公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院

01-2 下肢エクササイズにより活動意欲が向上した一症例

○平山 博子(ヒラヤマ ヒロコ)(看護師)、林 美智子、諸岡 美恵子、阿部 広美、野間 由紀、佐藤 晃子、大木 梨花、井桁 義徳、太田 麗子、宮本 みづ江、伊藤 家勝、中川 規夫、吉田 正美、山下 淳一、大森 耕一郎、田畑 陽一郎

医療法人社団明生会 東葉クリニック八日市場

01-3 透析中に施行する運動療法の現状と課題

○小川 真澄(オガワ マスミ)(看護師)¹⁾、近藤 久江¹⁾、伊藤 忍¹⁾、菅谷 多美子¹⁾、飯島 幸枝¹⁾、渡辺 光子¹⁾、大塚 さつき¹⁾、勝又 洋¹⁾、奥園 祐介¹⁾、布留川 浩一¹⁾、宮本 みづ江¹⁾、須賀 喜一¹⁾、田畑 陽一郎¹⁾、齊藤 正和²⁾、伊東 春樹²⁾

1) 医療法人社団明生会 東葉クリニック 八街、2) 公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会付属 榊原記念病院

01-4 当グループにおける透析患者のかゆみの実態調査 ～夏と冬を比較して～

○小見川 茂(オミガワ シゲル)(看護師)¹⁾、宮本 みづ江²⁾、林 美智子²⁾、篠崎 清美²⁾、近藤 久江²⁾、鷲見 照美²⁾、後藤 真希³⁾、佐藤 智秋³⁾、高尾 昌孝¹⁾、山下 淳一²⁾、大森 耕一郎²⁾、田畑 陽一郎²⁾

1) 医療法人社団明生会 東葉クリニックエアポート泌尿器科、2) 医療法人社団明生会 東葉クリニック、
3) 医療法人 三橋病院

01-5 当院におけるリハビリテーション科の取り組み

○若林 宣之(ワカバヤシ ノリユキ)(理学療法士)¹⁾、長田 薫子¹⁾、千田 みなみ¹⁾、石 萌佳¹⁾、坂田 菜未¹⁾、山田 里奈¹⁾、秋山 智子²⁾、古田 勝彦³⁾、石川 清隆³⁾

1) 医療法人社団 嬉泉会 大島記念嬉泉病院 リハビリテーション科、2) 同 看護部、3) 同 医局

セッション2(看) 9:30~10:10

[精神]

座長：江崎 真我 先生(幸有会記念病院)

02-1 維持透析患者の入院歴から看護介入の在り方を考察する

○黒田 早苗(クロタ サナエ)(看護師)、源田 美由起、三浦 ひとみ、牛嶋 信子、角山 桂子、中野 美子

医療法人社団 誠仁会 みはま病院

02-2 境界型パーソナリティ障害のある患者に関わって

○木間 佳織(コノマ カオリ)(看護師)

社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院

02-3 通院拒否を繰り返す高齢透析患者の家族への支援 ～面談や電話対応の場面を振り返って～

○鈴木 明美(スズキ アケミ)(看護師)¹⁾、服部 美由紀¹⁾、黒田 梨絵²⁾

1) 坂田クリニック、2) 筑波大学大学院人間総合科学研究科

02-4 透析医療を受ける認知症と複数の障害を持つ高齢患者の転入院初期の個別援助

○梁原 裕恵(ヤナハラ ヒロエ)(看護師)¹⁾、山下 波路¹⁾、櫻井 純子¹⁾、秋山 智子¹⁾、
石川 清隆²⁾

1) 医療法人 嬉泉会 大島記念嬉泉病院 看護部、2) 同 医師

セッション3(看・医) 10:10～10:50

[長時間透析]

座長：青木 栄子 先生(稲毛駅前クリニック)

03-1 Shared Decision Making (SDM) により長時間透析に移行した一例

○栗田 めぐみ(クリタ メグミ)(看護師)、高橋 美由紀、濱崎 美香、東 昌広

あずま腎クリニック

03-2 長時間透析に移行した患者の満足度の変化

○高岡 麻美(タカオカ アサミ)(看護師)、萬野 武史、稲垣 幸子、内田 真由美、小幡 了子、
伊藤 孝子

医療法人 社団 誠仁会 みはま成田クリニック

03-3 長時間透析に出会って人生が変わった ～ある患者の体験談から～

○東 昌広(アズマ マサヒロ)(医師)、高橋 美由紀、栗田 めぐみ、濱崎 美香、後藤 雅宏

あずま腎クリニック

03-4 4時間透析を受け入れた患者から学んだ事 聞き取り調査からわかった事と今後の課題

○山本 真紀(ヤマモト マキ)(看護師)、吉田 康代、折山 曜子、野田 真由美、長内 真由美、
内田 明子、高橋 弥生、藤崎 英恵

社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院

セッション4(看・検) 10:50～11:30

[その他①]

座長：平山 博子 先生(東葉クリニック八日市場)

04-1 チューモーク！チームワーク！ —チームワークは職場の鍵—

○千葉 祐佳(チバ ユカ)(看護師)、菅谷 光代、上村 千恵子、田中 佑季子、前田 芳枝、
山下 加代子、佐々木 美千子、室谷 典義

JCHO 千葉病院

04-2 患者参画型血液透析移行期パス導入後の看護師の意識変化 ～アンケート・記録監査より～

○岩井 美由希(イワイ ミユキ)(看護師)、小倉 理沙、小長谷 実保、戸村 功子、大川 あさ子
総合病院国保旭中央病院

04-3 患者の定期検査に対する意識向上を目指して

○渡辺 香(ワタナベ カオリ)(看護師)、加藤 ひろみ、種谷 文子、古川 麻帆、森 茂美、
島原 春香、近藤 由美、八木ヶ谷 美裕樹、小野 明子、朝日 雄一郎、朝戸 健夫
医療法人社団 恵仁会 セントマーガレット病院

04-4 当院における臨床検査技師の役割

○野村 圭佑(ノムラ ケイスケ)(検査助手)、川鍋 雄司、佐久間 宏治、本庄 美恵子、石塚 俊治、
佐藤 純彦
医療法人社団クレド さとうクリニック

特別講演 13:30～14:30

座長：岩堀 徹 先生(幸有会記念病院)

免疫制御の新戦略

順天堂大学医学部免疫学特任教授・アトピー疾患研究センター長 奥村 康 先生

セッション5(看) 14:40～15:20

[その他②]

座長：小林 裕子 先生(国保旭中央病院)

05-1 当院における腹膜透析出口部感染の実態調査

○牧野 聖子(マキノ キヨコ)(看護師)、東郷 美貴子、長田 理恵、今西 由美、城島 嘉麿、
岩堀 徹、江崎 真我、江崎 昌俊
医療法人社団幸有会 幸有会記念病院

05-2 当院における血清カリウム抑制剤(カリメイト経口液)の使用経験

○馬場 佳子(ババ ヨシコ)(看護師)、境野 陽子、高久 暁美、谷口 幸恵、亀山 哲子、
星 久子、高橋 正子、蜂谷 哲也
医療法人社団 千陽会 さくらクリニック

05-3 当院におけるエホバの証人患者に対する無輸血血液透析の経験

○秋山 康子(アキヤマ ヤスコ)(看護師)、塩澤 友望、城島 嘉麿、岩堀 徹、江崎 真我、
江崎 昌俊
医療法人社団幸有会 幸有会記念病院

05-4 透析患者の入浴における血圧・脈拍の変化

○細井 京子(ホソイ キョウコ)(看護師)、川内 久子、長谷 綾子、藤田 恵利子、春本 恵、
林 春幸
医療法人緑栄会 三愛記念そが病院

25-1 穿刺前のシャント音聴取の取り組み ～シャント管理のアンケート調査を実施して～

○猪野尾 友紀(イノオ ユキ)(看護師)、小池 真佐子、斉藤 和人、小澤 賢一郎、永原 美和、鷺見 照美、宮本 みづ江、本吉 等、小宮 博一、吉田 正美、山下 淳一、大森 耕一郎、田畑 陽一郎

医療法人社団明生会 東葉クリニック大網脳神経外科

25-2 シャント負荷軽減と経済的な止血器具の検討

○山内 政幸(ヤマウチ マサユキ)(看護師)¹⁾、田村 伸子¹⁾、中野 美子²⁾、村上 康一³⁾、白井 厚治¹⁾

1)医療法人社団 誠仁会 みはま香取クリニック、2)医療法人社団 誠仁会 みはま病院、
3)医療法人社団 誠仁会 みはま成田クリニック

25-3 非造影 MRI アンギオによるバスキュラーアクセスマップの作成と有用性

○渡辺 篤史(ワタナベ アツシ)(看護師)¹⁾、篠塚 信子¹⁾、加藤 由里子¹⁾、弓削 美佐子¹⁾、税所 幸子¹⁾、伊藤 明美¹⁾、浪川 玲子¹⁾、渡辺 智紀¹⁾、森田 晴代¹⁾、菅谷 小百合¹⁾、亀ヶ森 隆²⁾、秋葉 秀一²⁾、瀧口 広²⁾、堀 和芳³⁾、井上 雅裕⁴⁾

1)国保小見川総合病院 看護部、2)同 放射線科、3)同 臨床工学科、4)同 内科

25-4 当院の VA 治療の現況

○浅野 剛人(アサノ タクト)(臨床工学技士)¹⁾、井桁 義徳¹⁾、林 裕也¹⁾、太田 麗子¹⁾、伊藤 家勝¹⁾、佐藤 忠俊¹⁾、林 美智子¹⁾、中川 規夫¹⁾、吉田 正美¹⁾、山下 淳一¹⁾、大森 耕一郎¹⁾、室谷 典義²⁾、田畑 陽一郎¹⁾

1)医療法人社団明生会東葉クリニック八日市場、2)JCHO 千葉病院

ADPKD：最も多い遺伝性腎疾患 ～サムスカは末期腎不全を減らすか！～

帝京大学医学部付属病院・泌尿器科准教授 武藤 智 先生

26-1 ESA 投与回数がスタッフ業務に及ぼす影響

○須鎌 香里(スガマ カオリ)(臨床工学技士)¹⁾、原 隆雄¹⁾、望月 隆弘²⁾

1)亀田総合病院 ME 室、2)同 腎臓高血圧内科

26-2 患者満足度調査から見えてくる患者のニーズ把握と検討

- 酒井 飛鳥(サカイ アスカ)(臨床工学技士)、榎本 和幸、山越 弘康、廣瀬 英子、内海 展子、佐久間 宏治、本庄 美恵子、石塚 俊治、佐藤 純彦
医療法人社団クレド さとうクリニック

26-3 血液浄化療法センターにおける臨床工学技士の新人教育について

- 森口 英明(モリグチ ヒデアキ)(臨床工学技士)¹⁾、茂木 健¹⁾、猪俣 由香里¹⁾、越後 大将¹⁾、西川 美登里¹⁾、横山 雅伸¹⁾、中村 羽月¹⁾、平野 信²⁾、鈴木 秀子²⁾
1) 国保直営総合病院 君津中央病院 臨床工学科、2) 同 血液浄化療法科

26-4 千葉労災病院における血液浄化業務の現状報告

- 堀川 俊之介(ホリカワ シュンノスケ)(臨床工学技士)¹⁾、星野 隆久¹⁾、小倉 健¹⁾、久我 洋史¹⁾、長見 英治¹⁾、槇野 裕也²⁾、牧之内 崇²⁾、李 光浩²⁾、石橋 聡²⁾、浅野 達彦²⁾、山内 雅人²⁾、伊良部 真一郎³⁾、森脇 龍太郎³⁾
1) 千葉労災病院 臨床工学部、2) 同 循環器内科、3) 同 救急・集中治療部

セッション27(看) 15:20～16:00

[栄養①]

座長：木村 純子 先生(玄々堂君津病院)

27-1 腎不全患者の減塩行動推進のための減塩料理教室の取り組み

- 潤間 香織(ウルマ カオリ)(看護師)、小山 真利子、稲本 結美、岡本 梅子、首村 守俊、川口 武彦
独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院

27-2 透析患者の自己管理にむけた栄養指導の実際

- 藤木 美智子(フジキ ミチコ)(看護師)
千葉中央メディカルセンター

27-3 安定維持透析に向けてのNSTの関わり ～緊急透析導入直後よりの介入を通して～

- 寺島 幸江(テラシマ ユキエ)(看護師)¹⁾、工藤 美幸¹⁾、本田 典子¹⁾、俵 夕奈²⁾、尾坂 雅美³⁾、坂井 健彦⁴⁾、中野 美子¹⁾
1) 医療法人社団 誠仁会 みはま病院、2) 同 薬剤部、3) 同 栄養科、4) 同 泌尿器科

27-4 長期透析患者の食の嗜好及び食習慣に関する調査

- 岡 淳一郎(オカ ジュンイチロウ)(看護師)、白石 有里、設楽 悦子、中野 美子、永川 修
医療法人社団 誠仁会 みはま佐倉クリニック

セッション28(看・栄) 16:00～16:30

[栄養②]

座長：尾坂 雅美 先生(みはま病院)

28-1 管理栄養士による外来維持血液透析患者へのベットサイドラウンドの効果について

- 藤谷 麻梨子(フジヤ マリコ)(栄養士・管理栄養士)、鈴木 優香里、前田 綾乃、駒場 まり、石渡 和子
医療法人社団嬉泉会 大島記念嬉泉病院

28-2 当院における糖尿病透析予防指導の離脱率について

- 高橋 友美(タカハシ トモミ)(栄養士・管理栄養士)¹⁾、渡邊 真紀¹⁾、荻野 悟¹⁾、
城之内 清美¹⁾、西井 大輔¹⁾、西山 成二²⁾、大崎 慎一³⁾、荻野 良郎²⁾、池田 重雄³⁾
1) 玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 栄養科、2) 同 内科、3) 同 外科

28-3 当院における低リン血症・低栄養改善に向けての取り組み ～患者指導を見直して～

- 肥田野 啓子(ヒタノ ケイコ)(看護師)、中村 美智子、松岡 孝枝、狩野 聡子、福間 陽子、
飛澤 章子、鈴木 輝行、鳥海 裕貴、中島 美久、杉原 真耶、友方 一人、林 和城、
河野 孝史、高江 久仁、吉田 雅博
公益財団法人 化学療法研究会 化学療法研究所附属病院

特 別 講 演

ランチオンセミナー

免疫制御の新戦略

奥村 康

順天堂大学医学部免疫学 特任教授

生体の防御にせよ破壊にせよ、免疫反応の主役は、リンパ球の中の T 細胞である。その T 細胞の分化と活性化の仕組みが分子レベルで解明されつつある。T 細胞の活性化の過程に関しても、抗原と反応するための T 細胞レセプター (TCR) の解明に加え、接着分子の関与も大きな注目を集めている。T 細胞が抗原によって感作されるためには、TCR に加え、数々のリンパ球機能分子 (接着分子) からのシグナルが必要であることが判明している。

我々は主にマウスやラットに対する抗接着分子抗体を用い、T 細胞が関与する各種の免疫性の臓器炎をいかに制御できるかという研究を行っている。ここではその例を挙げて接着分子と免疫病の係わりを中心に免疫学の進歩を紹介する。

免疫寛容導入に最も関連が深いリンパ球機能分子は T 細胞上に発現されている、CD28 分子である。CD28 とそのリガンド分子である CD80 と CD86 の分子の機能についての研究を進めてきたが、種々の動物実験やヒトの治療実験で抗 CD86/CD80 モノクローナル抗体を用いた免疫制御を試みる実験で好成績が得られつつある。自己免疫や免疫異常性を T 細胞の CD28 分子を介した異常活性化を CD80/CD86 からのシグナルを阻害することで静め得る可能性も明らかになった。ここでは各種の臓器特異的自己免疫疾患や動物やヒトの移植臓器拒絶反応において CD80/CD86 からのシグナル阻害による発症抑制、免疫寛容導入効果などに関する知見を紹介する。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

一般演題

01-1 運動療法の取り組みにより むずむず脚症状改善が みられた1事例

○山口 葉子(ヤマグチ ヨウコ)(看護師)¹⁾、
佐藤 智秋¹⁾、蛭田 みゆき¹⁾、黒沼 まゆみ¹⁾、
高榎 三千代¹⁾、宇佐美 勝美¹⁾、後藤 真希¹⁾、
中村 喜信¹⁾、堀井 宏志¹⁾、坂本 薫¹⁾、
林 良輔²⁾、田畑 陽一郎²⁾、齊藤 正和³⁾

1)医療法人社団 三橋病院

2)医療法人社団 明生会 東葉クリニックグループ

3)公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属
榊原記念病院

【目的】 昨年より外来透析患者に対する運動療法の取り組みを継続する中で、状態改善がみられた1事例を報告する。

【対象・方法】 61歳、男性。原疾患は腎硬化症。パーキンソン症候群があり突進歩行、姿勢調整障害に加え、むずむず脚症状があった。症状に対して薬物療法と On-LineHDF を行うも症状改善みられず H24年5月より HD 中の運動療法(フィジオロールボール・携帯型自転車エルゴメータ)を取り入れ、歩行状況やレストレスレッグス重症度スケールによる症状の観察を行った。

【結果】 運動療法を開始前、重症度スケールは20点と重症であったが、現在は9点と軽症となり突進歩行、姿勢調整能が徐々に改善しスムーズな歩行となった。また、躊躇していた外出の回数が増えた。

【結語】 下肢のむずむず脚症状に対して On-LineHDF では症状改善には至らなかった事例に対して、HD 中の運動療法での症状改善がみられ ADL 拡大に繋がった。

01-2 下肢エクササイズにより 活動意欲が向上した一症例

○平山 博子(ヒラヤマ ヒロコ)(看護師)、
林 美智子、諸岡 美恵子、阿部 広美、
野間 由紀、佐藤 晃子、大木 梨花、
井桁 義徳、太田 麗子、宮本 みづ江、
伊藤 家勝、中川 規夫、吉田 正美、
山下 淳一、大森 耕一郎、田畑 陽一郎

医療法人社団明生会 東葉クリニック八日市場

【はじめに】 当院ではバーセルインデックス(以下 BI)低下者に対し H25年9月より HD 中下肢エクササイズ(以下 EX)を行っている。何事にも悲観的だった患者が EX 開始後より活動意欲が向上し HbA1C が改善された症例について報告する。

【対象および方法】 51歳男性。独居。NIDDM。H24年6月 HD 導入。

HD 中下肢 EX を継続。達成可能な目標を段階的に設定。

【結果】 HD 以外外出していなかったが筋力増強を自覚した事で公共機関を利用する等活動範囲が拡大、QOL 向上に繋がり又以前はヘルパーが調理した物は摂らず嗜好優先していたがヘルパーが調理した物を摂る様になり HbA1C も改善、現在インスリン療法は中止中。

HD 中や自宅での運動も継続でき BI 項目の歩行、階段昇降の点数も上昇。

【考察】 先が見えない不安から悲観的言動が見られたが達成可能な目標を段階的に設定し成功体験を積み重ねられた事で好転的に受け止められるようになった事が良い結果に繋がっていったと考える。

28-1 管理栄養士による外来維持血液透析患者へのベットサイドラウンドの効果について

○藤谷 麻梨子(フジヤ マリコ)(栄養士・管理栄養士)、鈴木 優香里、前田 綾乃、駒場 まり、石渡 和子
医療法人社団嬉泉会 大島記念嬉泉病院

【はじめに】患者の口に入るものは全て栄養科の責任という当院の考えのもと、患者の日常を知り食生活改善に繋げるため、ベットサイドラウンドを開始した。

【対象】

外来透析患者 99名(男65名 女34名)
平均年齢 69歳(±41)

【方法】

1. 透析中に管理栄養士が定期的に声かけを行う
2. オリジナルのリーフレット

【結果】定期的に短時間複数回の声掛けを行うことで、患者の現状を把握することができるようになった。

【考察】患者と会話を重ねることで信頼関係を築きやすく、随時問題点が見えてくる。個々に沿った改善を目指す上で日常的なラウンドは有効な方法である。

【まとめ】従来の期間が開いてしまう個別栄養指導と比べ、短時間の声掛けを頻繁に行うことにより、患者の生活スタイルやライフステージに沿った食生活指導が行える。

患者は高齢化による老老介護や独居等複雑な背景を持つため、今後は個々の性格、環境を尊重したより柔軟な対応が必要となる。

28-2 当院における糖尿病透析予防指導の離脱率について

○高橋 友美(タカハシ トモミ)(栄養士・管理栄養士)¹⁾、渡邊 真紀¹⁾、荻野 悟¹⁾、城之内 清美¹⁾、西井 大輔¹⁾、西山 成二²⁾、大崎 慎一³⁾、荻野 良郎²⁾、池田 重雄³⁾
1) 玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 栄養科
2) 同 内科
3) 同 外科

2012年の診療報酬改定により「糖尿病透析予防指導管理料」が新設され、2年余りが経過した。

当院では、同年4月より糖尿病透析予防指導を開始し、指導件数は増加している。

糖尿病性腎症進行抑制あるいは合併症の軽減に対して、継続的な生活習慣への患者指導は極めて重要である。

そこで当院における2012年12月から2014年6月の間に糖尿病透析予防指導管理を実施した患者の離脱率を調査し、当院における糖尿病透析予防指導の現状を把握し、今後の課題を検討した。

28-3 当院における低リン血症・ 低栄養改善に向けての取り組み ～患者指導を見直して～

○肥田野 啓子(ヒダノ ケイコ)(看護師)、
中村 美智子、松岡 孝枝、狩野 聡子、
福間 陽子、飛澤 章子、鈴木 輝行、
鳥海 裕貴、中島 美久、杉原 真耶、
友方 一人、林 和城、河野 孝史、
高江 久仁、吉田 雅博
公益財団法人 化学療法研究会 化学療法研究所附属病院

【目的】 低栄養状態にありながら P コントロールを要する患者の栄養指導方法を検討する。

【対象・方法】 当院外来透析患者29名(男17・女12)に対し、GNRI・ALB・nPCRを指標とした栄養評価を行った。指導を要する患者を抽出し、食事摂取状況や意識を患者より聞き取り個別に栄養状態改善に向けた指導を行った。

【結果】 P と ALB、GNRI との間では優位な相関性を認めた。一方、GNRI は共通して低値であるのに対し、P は低値のみならず高値の患者も認めた。患者の話より、食事内容に偏りがある・P 吸着薬の間違った服薬方法・P 上昇を気にして栄養摂取が不十分になっている・食欲がわからない等の事実が明らかとなった。

【考察】 低栄養状態にある患者ではまず十分な栄養摂取による栄養状態改善が必要で、そのうえで P コントロールを行う必要がある。さらに栄養状態改善に向けて食事摂取状況や生活背景・服薬法を知り、個別の状況に合わせた指導を行ったことは有効であったと考える。

第42回 千葉県透析研究会
プログラム・抄録集

会 長：室谷 典義 JCHO 千葉病院

当番世話人：武田 将伸 山之内病院
岩堀 徹 幸有会記念病院

事 務 局：医療社団法人 幸有会 幸有会記念病院
〒262-0013 千葉市花見川区こてはし町77-3
TEL：043-259-3610 FAX：043-257-3366
E-mail：chibacon42@outlook.com

出 版：(株)セカンド
 株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.jp/>
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

